



かんがえる、こうどうする、たのしむ
認定 N P O 法人

Vision

すべての子どもが学びの機会に出会い
自己実現に向けて挑戦できる社会

Mission

環境に左右されない楽しい学びの場を
すべての子ども・若者へ

団体
案内

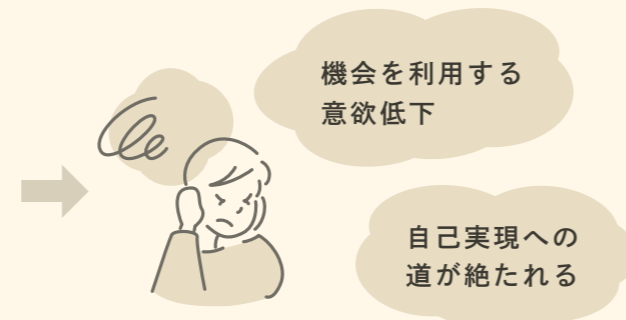
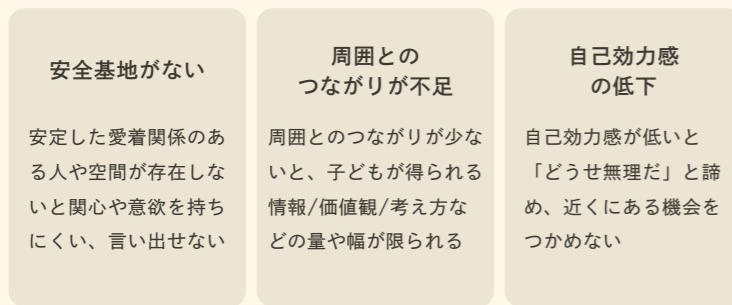
子どもが抱える困難

ひとり親世帯・生活保護世帯・児童養護施設など
様々な事情により子どもが困難を抱えることがあります。



困難下で子どもに不足するもの

困難を抱えた状況下では、安心できる空間や周囲とのつながりが不足したり、自己効力感が不安定になったりする場合があります。その結果、自己実現の機会があってもそれを利用する意欲が低下する傾向が強まり、将来への希望を失うことに影響します。



学びの機会格差

子どもの困難状況は様々ですが、困難により学びの機会格差が生じ周囲から孤立していると感じてしまう場合などがあります。

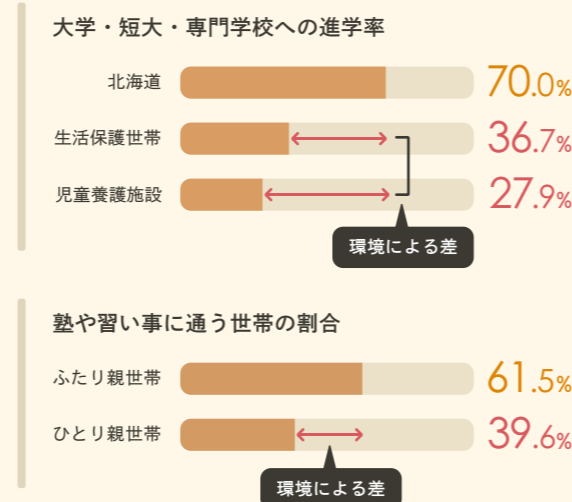
塾に行けない	習い事ができない
通学が困難になる	部活動に入れない
生活体験の不足	進路選択の幅が狭くなる

進学率・学習環境の格差

北海道の高校生における大学・短大・専門学校への進学率は道内全体の進学率と比較して、生活保護世帯や児童養護施設で暮らす高校生において格差が生じています。

経済的な側面に加え、身近に大学生などのロールモデルがないことや、学習意欲を育むための経験を得られていないことも要因として挙げられます。

さらに塾や習い事について、ふたり親世帯とひとり親世帯での利用率にも差があり、学校外の教育についても格差が生じています。



学習に取り組むことが難しい背景

児童養護施設や一時保護施設などにいる子どもは虐待の影響により ①認知機能のアンバランスさなど発達障害と似た特性の傾向 ②愛着障害による関係形成の困難や不安定さ ③学習習慣の未形成 ④自己評価の低さなどにより、学習への取り組みが難しくなっています。地域で対応できる社会資源が少なく、学校や相談機関でも対応が困難なケースが多い状況です。

多様化する子どもの困難に対し 学習機会の確保と1対1の関わりを

Kacotamでは、貧困・虐待などの困難な状況にある子ども(小学生～高校生)・若者を対象に、1対1の関わりを大切にしながら、教科学習や体験学習、キャリア学習などの学びを支援する取り組みを行っています。

1. 学び支援事業

人とのつながりをつくりながら
学習に取り組める環境と
視野が広がる環境を整える



学習支援と体験活動の2つの取り組みから支援を行う

2. コンサルティング事業

他の団体の学びの場づくりを
仕組み検討からサポート



3. アドボカシー事業

講演会や学習会を通し
子ども・若者の声を発信



学び支援事業

経済的理由や家庭環境等により十分な学習環境にない子ども・若者を対象に、学習支援や体験活動を通じて、学習に取り組める環境・視野が広がる環境・つながりができる環境を提供しています。対象となる子ども・若者の状況に応じて利用できるように、拠点型・訪問型・オンライン型での取り組みをしています。

学習支援

学習に取り組める環境・つながりができる環境



児童福祉施設などへ訪問型学習支援

学ボラ

児童養護施設やファミリーホーム、母子生活支援施設等の社会的養護にかかわる児童福祉施設や里親家庭の小学生～高校生までの子どもを対象とした学習支援を行っています。メンバーが施設等に赴き、各施設等のニーズに合わせて学習のサポートをしています。

訪問実績のある施設

児童養護施設

興正学園 羊ヶ丘養護園 札幌育児園
札幌南藻園 柏葉荘 ふくじゅ園(北広島市)
わかすぎ学園(室蘭市)

地域小規模児童養護施設

北海愛星学園(Kuuまこまない)
ふくじゅ園(アドニス・ハルニレ・シラカバ)
柏葉荘(ひまわり・すずらん・びーす・みらい)
札幌南藻園(たんぼぼ・あじさい・すずらん)
興正チャイルドホーム(平岸・中の島・西岡)

自立援助ホーム

はむん・ほーむ
びあ・くおーれ
ほみえ

ファミリーホーム

翼の家 ラポール輝 ひかり 望みの家
ベテスタホーム みのりホーム

児童心理治療施設

こころぼ

母子生活支援施設

すずらん しらぎく荘
もいわ荘 あいりん荘



一時保護施設における学習支援

ポル

児童相談所で一時保護している小学生～高校生までの子どもを対象とした学習支援です。施設のニーズに合わせて実施します。

実施施設

社会福祉法人扶桑苑 はくよう一時保護センター



個別訪問などによる学習支援

テラス

拠点型学習支援を利用することができない小学生～高校生までの子どもを対象に、個別訪問等を行う学習支援です。関係機関と連携しながら、一人ひとりに合った学びの場をつくります。また、本人や保護者からの相談を受けて情報提供などを通じた課題解決も図ります。



地域拠点における拠点型学習支援

スタサポ

主にひとり親世帯・生活保護世帯など経済的理由や家庭環境等により十分な学習環境にない小学生～高校生までの子どもを対象に、それぞれの子どものニーズに合わせて、原則1対1で学習をサポートする活動です。

活動拠点 ※ ()内は拠点の最寄り駅や拠点所在地

エルプラザ (JR札幌駅、地下鉄さっぽろ駅)

へるすたでい (地下鉄南生駅)

琴似会館 (JR琴似駅)

ねっこぼっこのいえ (地下鉄月寒中央駅)

うおーく (JR篠路駅)

ゆるきち (地下鉄北24条駅・元町駅)

コトル (地下鉄東札幌駅)

あすかの森 (江別市)

L-Base (苫小牧市)

渋谷さくら (東京都 渋谷駅)



オンラインの学習支援

あうるねっと

全国の小学生～高校生までの子どもを対象としたオンラインによる学習支援です。Kacotamの拠点が無い地域に住む子どもや対面による学習が難しい子どもなど、拠点型や訪問型ではアプローチが難しい子どもをサポートします。



学び直しの学習支援

リラーニング

過去に経済的理由や家庭環境などにより学びの機会が得られなかった19～24歳の若者を対象に、高卒認定試験の合格を目指した学習のサポートを行います。1対1の個別形式で一人ひとりに合わせた学びを提供します。

学び支援事業

体験活動

視野が広がる環境・つながりができる環境

将来就きたい職業の社会人にインタビュー

お仕事カコタム

Kacotamの学習支援を利用している子ども・若者を対象に、子どもが興味のある職業に就いている人を訪問・インタビューしたり、興味のある分野の大学などに訪問し、理解を深める機会を提供します。

過去の取り組み

看護師 栄養教諭 スポーツトレーナー 自動車開発 イラストレーター
理学療法士 動物園獣医師 動物看護師 アナウンサー カフェオーナー
海外旅行会社 管理栄養士 建築士 芸能人のマネージャー など



子どもがやりたいことを一緒に具現化

子どもの「やりたい」をカタチにするプロジェクト

学習支援を通じた関わりの中で、子どもの「やりたい」という声を聞いたり、潜在的に秘められた「やりたい」を見つけたりして、それらをカタチにしていくという取り組みです。

過去の取り組み

ジェットストリームはなぜ書きやすいのか orenzはなぜ折れないのか
微生物の勉強 巨大折り鶴を折りたい カメラを分解してみたい など



企業などと連携して様々な体験を提供

体験カコタム

Kacotamの学習支援を利用している子ども・若者を対象に、学習の狙いをもち企画・実施する体験型学習です。様々な団体や企業・スタッフの特性を活用し、学びの機会を提供する取り組みです。

過去の取り組み

自然体験学習 プチ演劇をしよう ギター体験会 カコタム運動会
共通テスト模試を受けてみよう！ 自転車ではまなすの丘公園へ行こう
お菓子づくりに挑戦しよう 北大祭に行こう！



2 コンサルティング事業

他団体の学びの場づくりの検討段階から参画し、学習支援の目的や成果・プログラム内容・団体内の情報共有など学習支援活動の仕組みづくりをサポートします。また、学習支援活動の運営を担いながら、徐々に依頼団体自身で運営できるような移行型サポートも行っています。

現在運営をサポートしている団体

NPO法人鳩だまりの家（中学生向け学習支援 / 恵庭市）



3 アドボカシー事業

講演会や学習会を通して、活動していく中で見てきた子ども・若者の現状や当事者では発することが難しい声を代わりに発信していきます。また、学術的根拠をもった発信ができるように、大学と協力して調査を行っています。

これまで実施した講演会

「本人も気づかない子どもたちの困難とは」(2017年) 「10代・20代の若者が抱える困難とは」(2018年)
「子どもが学ぶときってどんとき？」(2019年) など



寄付・ボランティアへのご協力

お待ちしております

寄付

みなさまの継続的なご支援によって
安定的・継続的に子どもの学びをサポートできます

法人・個人問わず、寄付にご協力いただける方を募集しています。
Kacotamは札幌市から認定を受けた「認定NPO法人」です。
認定NPO法人への寄付は、税制上の優遇措置（税控除）を受けることができます。

寄付金振込先口座

ゆうちょ銀行 二七九店 0102212 (当座)

※ゆうちょ銀行間の場合、

02760-7-102212

トクヒカコタム

北海道銀行 札幌駅前支店 1811230 (普通)

カコタムダイヒョウタカハンシュウ

<https://kacotam.com/donation/>



ボランティア

子どもの学習支援や団体運営サポートを通して
子どもに寄り添う活動を一緒にしませんか

学習支援は、Kacotamが大事にする「子どもとの関係性」づくりの観点から、30代までの方をお願いしています。

事務・運営については、高校生以上の方をお願いしています。



ボランティア募集(activo)



※銀行口座自動振替・クレジットカードでの寄付/寄付金控除/その他の寄付については
寄付のご案内ページ(上記二次元バーコード)をご覧ください。

継続寄付で実現できること



公式マスコット
「カコタン」

メンバー1人分の
交通費

1,000円/月

学習支援会場が
借りられる

3,000円/月

定員10人未満の
会場を月1回運営

5,000円/月

定員10人以上の
会場を月1回運営

10,000円/月

団体情報 ※2025年2月現在

名称 認定NPO法人Kacotam(カコタム)
所在地 〒060-0005
札幌市中央区北5条西17丁目4-8ノースファインN5 701号室
スタッフ 【理事長】高橋 勇造(常勤職員)
【役員】限元 晴子(理事)、平井 照枝(理事)、高橋 博光(監事) ※非常勤・無報酬
【職員】常勤職員(4名)
【ボランティア】計243名
【アドバイザー】
飯田昭人(北翔大学 教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授)
平野直己(北海道教育大学 教育学部札幌校 准教授)
屋代通子(NPO法人CAN 事務局長)
事業 【特定非営利活動事業】
学び支援事業、学びの場づくりのコンサルティング事業
子ども・若者の現状を広域的に周知するための活動事業



理事長 高橋勇造

☎ 070-4799-8867(高橋)

✉ info@kacotam.com

WEB <https://kacotam.com/>

📘 <https://www.facebook.com/kacotamsince2012/>

